

大野市脱炭素ビジョン策定(R4)のイメージ

行政(協議会)

市民ワークショップ (R3.3 全5回)

市民が思い描く2050年の
脱炭素なライフスタイル



反映
・実現

大野市脱炭素ビジョン

【ねらい】

- ・地域課題との同時解決
- ・人、モノ、カネが地域で循環する
地域循環型社会の実現

市民の
ハッピー
な暮らし



プロジェクト案や推進体制など
を加えて修正

- 脱炭素シナリオ・再エネ導入目標
(何をどれだけいつまでに)
- 再エネ導入プロジェクト・スキーム案
- 推進体制 など

解決手段

再生可能エネルギーの導入事業等

- ・経済性 (市民に還元される利潤、波及効果など)
- ・実現可能性 (採算性、ポテンシャルの有無など)
- ・影響力 (課題解決、水平展開、次世代活躍など)
- ・独自性 (大野らしさ)

地域課題(問題点)

【集落・家庭】

- ・人口減少、少子化、高齢化
(担い手確保、集落活動維持)
- ・防災、減災

【経済】

- ・新たな高速交通体系等の活用
- ・道の駅「越前おおの荒島の郷」の活用
- ・新たな産業団地への企業誘致
- ・耕作放棄地の利活用
- ・森林施業維持拡大スキーム作り
- ・脱炭素産業の創出、企業連携

【交通】

- ・公共交通の維持、交通弱者対応
- ・自家用車等のエコカーへの転換

【エネルギー】

- ・エネルギーの地産地消
- ・未利用資源の利活用
(木質、家畜糞尿、生ごみ、稲わら、
さといも、廃棄農作物、など)
- ・エネルギー生産性の向上
- ・地域特性に即した再エネ導入
(住宅密集地と農山村、積雪など)
(豊富な水資源、地下水熱など)
- ・石油燃料から電気への転換 (家庭)
- ・電力消費量の削減、再エネ転換
(業務)



市民

脱炭素技術